

カラービデオカメラ

型名 **TK-C1461**

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

このたびはカラービデオカメラTK-C1461
をお買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

おもな特長

目次

はじめに

おもな特長	2
正しくお使いいただくためのご注意	3
各部の名称とはたらき	4

接続・設置

RM-P2580のシステム	8
手順	10
レンズ取付	11
背面部の接続	12
カメラの取付	13
バックフォーカス調整	14
レンズ調整	15
オートホワイトバランス調整	16

メニュー設定

メニューの設定方法	17
メニュー画面の流れ	18
SYNC ADJUST画面	20
ALC SETTINGS画面	21
VIDEO ADJUST画面	26
MODE SELECT画面	27
MOTION DETECT画面	29
COMMUNICATION画面	30
FACTORY SETTINGS画面	30
BLC EDIT画面	31
ホワイトバランス手動調整	32
カメラタイトル画面	33
MOTION DETECTの設定	34
白黒／カラー切り換え信号を出力する	35
外部からの白黒／カラー切り換え信号で制御する	36

その他

フェライトコアの取り付け	37
保証とアフターサービス	38
仕様	39

- 新しいDSP (Digital Signal Processor) により、広いダイナミックレンジが可能となり、明るい場所も暗い場所も映すことができます。
- 新しい高感度CCD採用により、最低被写体照度0.025lx (typ.) (F1.2, 50%, AGC 20 dB, SENSE UP ×32時) また、白黒モード機能により0.02lx (typ.) (F1.2, AGC 20 dB, 850nm) を実現しました。
- モーションディテクト機能により、設定したエリア内の映像の動きを感知し、アラーム信号を出力します。
- 昼夜監視可能
低照度時に光学フィルターの切り換わりにより自動的に高感度モード (白黒) に切り換えることができます。
- 電子ズーム
10倍電子ズームにより細かな監視がおこなえます。

- 大切な録画の場合は必ず事前にためし撮りをし、正常に録画されることをご確認ください。
- ビデオカメラやVTR、テープの使用
中、万一これらの不都合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。
- 設置説明に従わない不完全な取り付けにより、カメラが落下した場合、当社は責任を負いかねますので、設置には十分な注意をお願いします。
- モーションディテクトは盗難、火災などを防止するための機能ではありません。万一、発生した事故や損害に対する責任は一切負いません。

正しくお使いいただくためのご注意

- 本機は屋内用カメラです。屋外で使用する場合は、ハウジング等を使用してください。
- 次のような場所への設置およびご使用はできません。
 - ・ 雨や水のかかる場所
 - ・ 厨房など蒸気や油分の多い場所
 - ・ 使用周囲温度（-10℃～50℃）を超える場所
 - ・ 放射線やX線および強力な電波や磁気の発生する場所
 - ・ 振動する場所
 - ・ ほこりの多い場所
- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ(例、ラジオ、テレビ、変圧器、モーターなどの近く)で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。
- 本機はAGC回路内蔵のため、暗い場所では自動的に感度が上がり、画面がザラついた感じになる場合がありますが、これは故障ではありません。
- AGCが動作中、トランシーバーなど強い磁気を発生する機器を本機の近くで使用すると、画像にビートなどが発生することがあります。
トランシーバーなどを使用する場合は、本機から5m以上はなれてお使いください。
- POWER ON時およびカラーと白黒画面に切り換わるときには光学フィルター切り換えモータ動作により多少音がします。また多少画が乱れます。
- ラインロック使用時に、ゲインを上げると画面上にビートが見えることがありますが、これは電源周波数の変動によるもので故障ではありません。
- 本機をホワイトバランスATW（自動追尾）で使用した時、自動追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがあります。故障ではありません。
- 高輝度の被写体（ランプなど）を撮影した時、画面上で高輝度の被写体の上下方向に白い尾引き現象が現れます。これは固体撮影素子特有の現象（スミア現象）で故障ではありません。
- 本機は電子シャッターを出荷時、1/60秒に設定しています。
商用電源周波数50Hzの地域で蛍光灯照明下では1/100秒に切り換えてご使用ください。（1/100秒の時、感度が少し下がります。）
- 本機の汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。
- VIDEO IRISレンズ操作時のご注意
VIDEO IRISレンズのLEVELボリュームを低レベル（L側）に回しすぎると、アイリスが開いたり、閉じたりするハンチング現象のような不具合がおこることがあります。この場合は、レンズ側のLEVELボリュームを一度H側に回し、映像信号を見ながら、もう一度調整してください。（P15ページ）
- 端子台のケーブルストッパー部ははずれることがありますので、ケーブルの取り付けはゆっくり確実におこなってください。
- 高輝度の被写体を写すと、被写体の縦線部にうねりが見られることがありますが、これは本機の特性であり故障ではありません。
- 節電のため使用しないときはシステムの電源を切ってください。

本文中の表記文字や記号の見方

ご注意： 操作上の注意が書かれています。

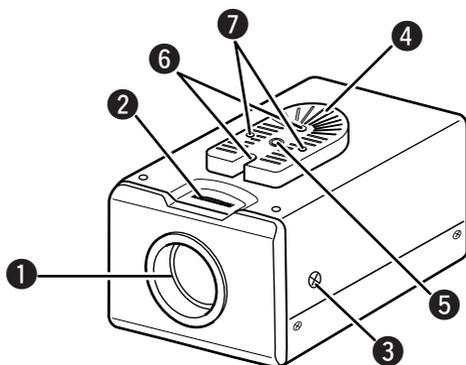
MEMO： 機能や仕様上の制限など参考となる内容が書かれています。

☞： 参考ページや参照項目を示しています。

はじめに

各部の名称とはたらき

〔前面部、上面部〕



① レンズマウント

レンズ取り付けマウントです。

CS マウントレンズ(1/3 型)または C マウントレンズ(1/3 型)に適合します。

② バックフォーカス調整リング

バックフォーカスの調整とレンズマウント方式の切り換えをおこなうリングです。操作時は③バックフォーカス固定ネジを反時計方向に回して緩め、操作後は時計方向に回して固定してください。

本機は CS マウントで最適な位置に調整して出荷されています。

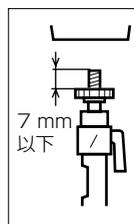
③ [BF LOCK] バックフォーカス固定ネジ
バックフォーカス調整機構の固定ネジです。

④ カメラ取付ブラケット

出荷時、カメラ上面に取り付けられています。使用状況に応じて下面に取り付けることができます。下面のネジ穴に⑦カメラ取付ブラケット固定ネジで取り付けます。(☞13 ページ)

⑤ カメラ取付用ネジ穴(1/4-20UNC)

本機をфикサー、回転台などに取り付ける場合は、この穴を使用します。(ネジの長さは7mm以下のものを使用してください。指定長さより長いネジを使用すると、内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。)



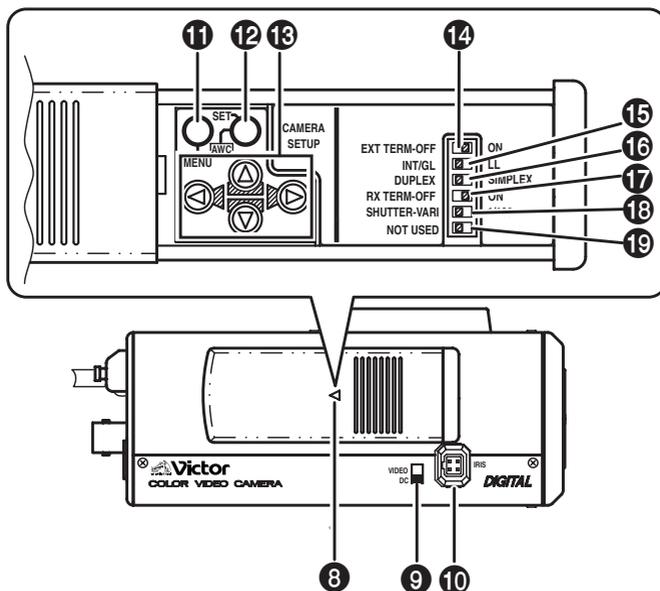
⑥ 回転防止用穴

本機を取り付ける場合は、落下防止のため、この回転防止用穴を利用し、確実に取り付けてください。

⑦ カメラ取付ブラケット固定ネジ(2 本 : M2.6 × 6mm)

ネジは長さ 6mm を使用してください。指定長さより長いネジを使用すると、内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。

〔側面部〕



⑧ カバー

押しながら左に引くとカバーが開きます。

⑨ [VIDEO, DC] アイリス切換スイッチ

自動絞りレンズを使用する場合、レンズの種類により設定します。

VIDEO : EE アンブ内蔵レンズの場合

DC : EE アンブを内蔵していない
レンズの場合

(初期設定値 : DC)

⑩ [IRIS] アイリス端子

自動絞りレンズと接続します。

(☞ 11 ページ)

⑪ [MENU] メニューボタン

ボタンを押すと、メニュー画面を表示します。(☞ 17 ページ)

⑫ [SET, AWC] セット、オートホワイトコントロールボタン

SET :

サブメニュー画面を表示するとき、このボタンを押します。(☞ 17 ページ)

AWC :

このボタンを 1 秒以上押しつづけるとワンタッチオートホワイトバランス機能が動作し、ホワイトバランスをとります。一度ホワイトバランスをとると、色温度が変わってもホワイトバランスは追従しません。

設定したホワイトバランスを微調整することもできます。(☞ 16, 26, 32 ページ)

はじめに

各部の名称とはたらき (つづき)

13 [、、、] 上下左右ボタン

メニュー画面項目の選択、および設定値の変更をおこないます。(☞17ページ)

14 [EXT.TERM-OFF, ON] 外部同期終端入切スイッチ

背面部  SYNC IN 端子に入力した同期信号を 75 Ω 終端するかどうかの設定をおこないます。

ON : 75 Ω で終端します。

OFF : 75 Ω で終端しません。

(初期設定値 : ON)

15 [INT/GL, LL] 同期方式切換スイッチ

カメラの同期方式を設定します。

INT/GL :

内部同期 (INT) あるいは外部同期 (GL) のとき設定します。

LL (ラインロック) :

電源周波数にカメラの垂直同期を合わせる場合に設定します。

(初期設定値 : INT/GL)

16 [DUPLEX, SIMPLEX] 通信方式切換スイッチ

設定を変えた場合は、必ず電源を再投入してください。

DUPLEX :

本機とリモートコントロールユニットの間の通信方式が双方向通信 (duplex) のとき設定します。

SIMPLEX :

本機とリモートコントロールユニットの間の通信方式が片方向通信 (simplex) のとき設定します。

(初期設定値 : DUPLEX)

17 [RX TERM-OFF, ON] RX 通信終端入切スイッチ

背面部  RX+, RX- 間を 110 Ω の抵抗値で終端するかどうかの設定をおこないます。

ON : 終端します。

OFF : 終端しません。

本機を含むシステムが M. DROP (Multi DROP, RS-485) 方式の場合、制御信号ケーブルの末端に設置したカメラのみ "ON" に設定し、他のカメラは "OFF" に設定します。

M. DROP 方式の場合、MACHINE ID の設定が必要です。(☞30ページ)

本機を含むシステムが P TO P (Point To Point, RS-422A) 方式の場合は、"ON" に設定します。方式の切換は、COMMUNICATION 画面の STYLE 項目でおこないます。(☞30ページ)

(初期設定値 : ON)

18 [SHUTTER-VARI, 1/100] シャッター速度切換スイッチ

VARI : 通常はこの設定で使います。

メニュー画面の SHUTTER 項目でシャッター速度を変換することができます。

(SHUTTER 項目初期値 : 1/60)

1/100 : 商用電源周波数 50Hz 地域で蛍光灯照明下によるフリッカー現象を軽減します。

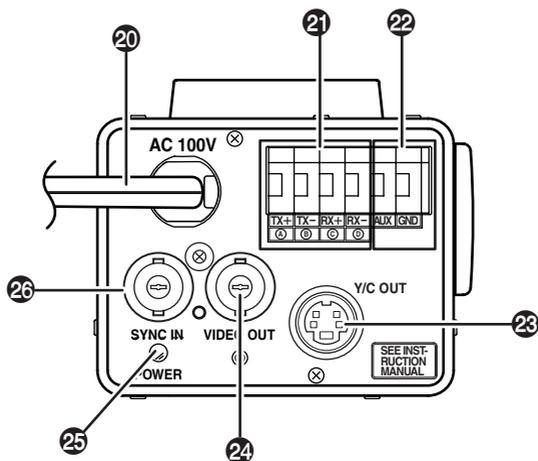
(初期設定値 : VARI)

※ 1/100 の設定時には、メニュー上でのシャッター速度設定はおこなえません。

19 NOT USED

使用してません。

〔背面部〕



⑳ [AC100V] 電源コード

商用AC100Vのコンセントに接続します。

㉑ [TX+ ㉒, TX- ㉓, RX+ ㉔, RX- ㉕] 制御信号接続端子

EIA/TIA RS-422AまたはRS-485に準拠した電気的な特性を持つ、信号の入出力端子です。

(㉒6 ページ ㉑ [RX TERM-OFF,ON] スイッチ)

㉒ [AUX,GND] 予備端子

MODE SELECT画面のAUX TERMINAL項目で設定された入出力信号になります。(㉒28 ページ)

- MOTION DETECT 画面で設定したエリアに変化が生じた場合、この端子から信号を出力します。
- 白黒/カラー信号をこの端子から出力します。
[オープンコレクター L 信号最大電圧 30V、電流 30mA]
- 白黒/カラーを制御信号を用いて切り換える場合、この端子に入力します。
[白黒：メイク、カラー：ブレイク]

㉓ [Y/C OUT] Y/C 出力端子

輝度信号およびクロマ信号を出力する端子です。(4ピン)



ピン番号	信号
1	GND
2	GND
3	輝度信号
4	クロマ信号

㉔ [VIDEO OUT] 映像信号出力端子

複合映像信号の出力端子です。モニター、スイッチャーなどの映像入力端子に接続します。

㉕ [POWER] 電源表示灯

電源を供給すると点灯します。

㉖ [SYNC IN] 同期信号入力端子

複合映像信号(VBS)やブラックバースト信号(BB)などの同期信号の入力端子です。この端子に同期信号が入力されると、自動的に外部からの同期信号に同期して動作します。

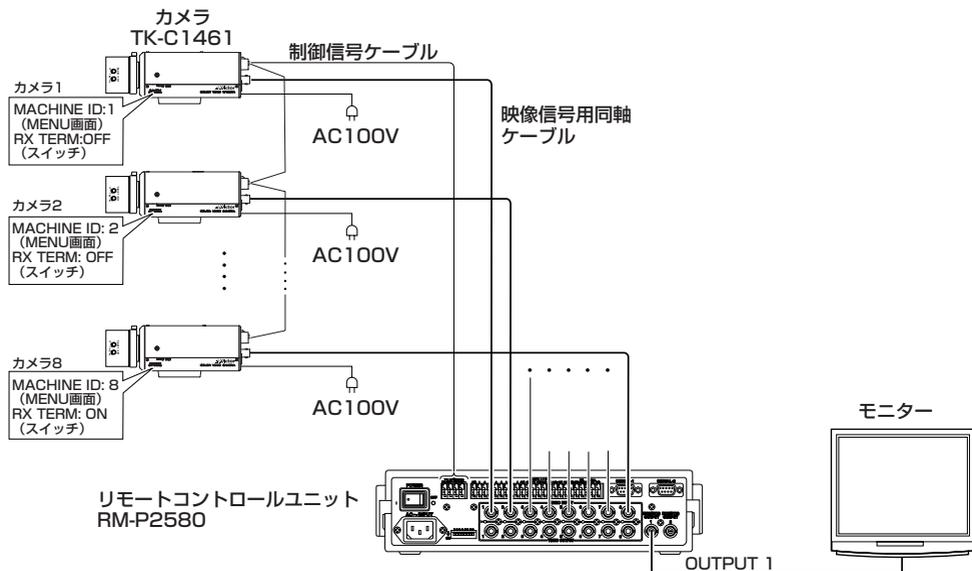
このコネクタを 75 Ω 終端するには、

㉑EXT.TERMスイッチをONにします。

接続・設置

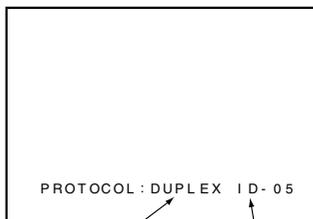
RM-P2580のシステム

カメラ8台のシステム例です。



MEMO

- RM-P2580を使用したシステムでは、1組の制御信号ケーブルに複数カメラ（最大16台）を接続して使用するため、スイッチの設定が1台でもおかしいと、システム全体が動作不良となります。
- 以下のようにスイッチ設定を画面で確認できます。
 - ① チェックをおこなうカメラの映像がモニターに出力されていることを確認します。
 - ② チェックをおこなうカメラのAC100V電源を切→入します。
 - ③ 画面上に右図のような文字が表示されます。
 - ④ “DUPLEX”、ID-□□が表示されること、ID番号が正しい番号（RM-P2580背面部のこのカメラを接続しているVIDEO INPUT端子と同じ番号）となっているかを確認します。
 - ⑤ 誤っていたらカメラIDを再設定してください。
モニター画面
(カメラIDを“05”に設定した例)



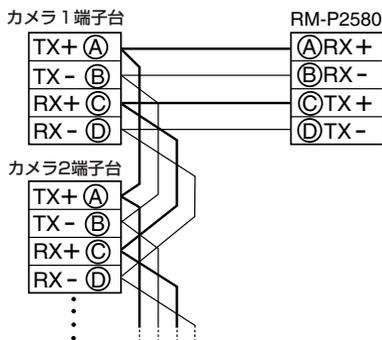
“DUPLEX”と表示されること

ID-□□と表示され□□が正しい番号となっていること

RM-P2580以外で制御する場合は、使用システムに合わせてスイッチやメニュー画面での設定をおこなってください。

■ 背面部のケーブル接続

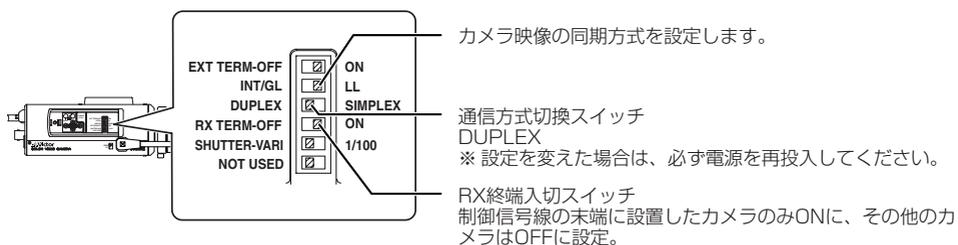
制御信号ケーブルの接続（より対ケーブル推奨 12 ページ）



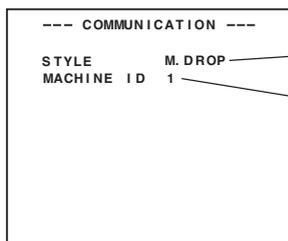
カメラのTX+とRM-P2580のRX+
カメラのTX-とRM-P2580のRX-
カメラのRX+とRM-P2580のTX+
カメラのRX-とRM-P2580のTX-
を接続します。

カメラの端子、RM-P2580の端子相方に
表示してある (A) (B) (C) (D) を同じマークど
うし接続するとわかりやすくまた、間違い
なく結線できます。

■ 側面部のスイッチ設定（15 ページ 15, 16, 17）



■ メニュー画面での設定（15 ページ 30ページ）



※ 設定を変えた場合は、メニュー画面を一度抜けてから必ず電源を再投入してください。

STYLE項目をM. DROPに設定

MACHINE ID項目
カメラ毎に、RM-P2580のVIDEO INPUT端子番号に合
合わせます。

COMMUNICATION画面

接続は

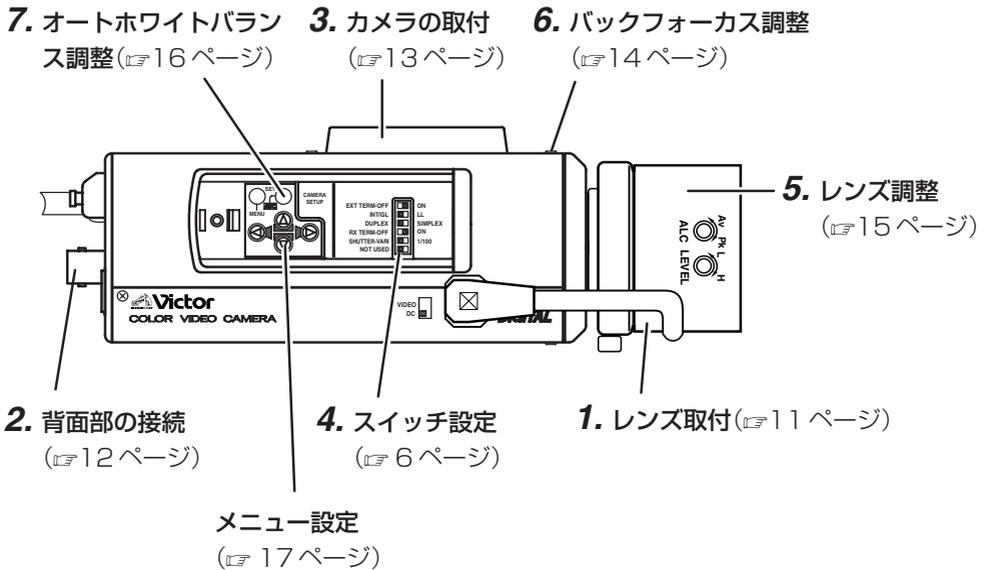
- 使用機器の電源を切っておこなってください。
- 使用機器の「取扱説明書」をよくお読みのうえおこなってください。
- 接続ケーブルの種類および距離は12ページ「背面部の接続」をよくお読みになってからおこなってください。
- 制御信号ケーブルはループ接続できません。

接続・設置

手順

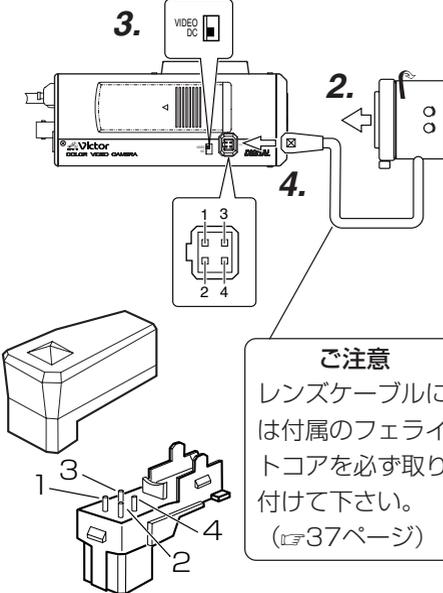
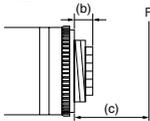
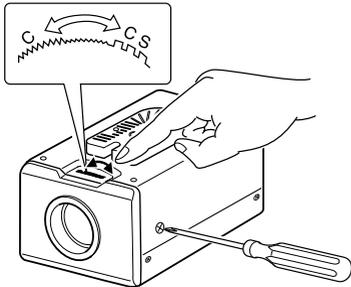
下記手順で接続・設置をおこなってください。

接続は使用機器の電源を切ってからおこなってください。



レンズ取付

下記の手順でレンズを取り付けます。



ご注意
 レンズケーブルには付属のフェライトコアを必ず取り付けて下さい。
 (☞37ページ)

1. レンズ取り付け前に使用レンズのマウント方式を確認します。

出荷時、本機は**CSマウント**になっています。**Cマウント**レンズ使用時は、**バックフォーカス固定ネジ**をドライバーでゆるめ、**バックフォーカス調整リング**を指または先端の細いもの（ドライバーなど）を使用して回して、マウント方式を切り換えます。

左図に示すレンズ取り付け部分の寸法 (b) は下表に示した値のものを使用してください。寸法 (b) が長いものはカメラ内部を破損させたり、正常に取り付けができませんので、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

レンズ	フランジバック(c)	寸法 (b)
Cマウントレンズ	17.526mm	5.5mm以下
CSマウントレンズ	12.5mm	

2. レンズを時計方向に回して、カメラにしっかり取り付けます。

3. 自動絞りレンズの場合、使用レンズによりスイッチを切り換えます。

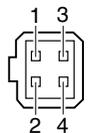
VIDEO : EEアンプを内蔵しているレンズ使用時

DC : EEアンプを内蔵していないレンズ使用時

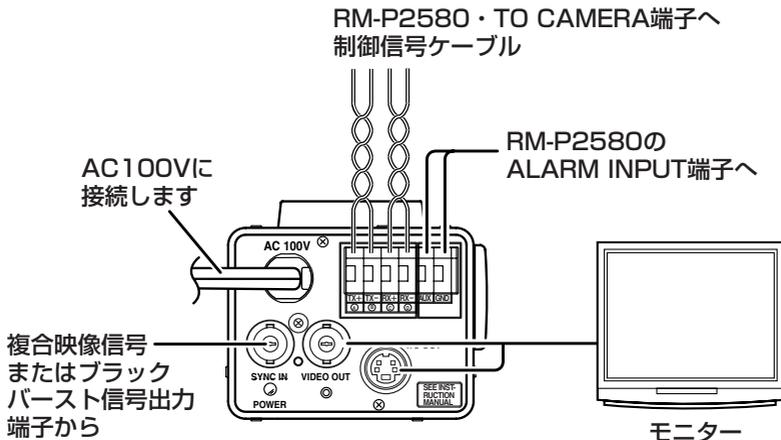
4. 自動絞りレンズの場合、ピン配置を確認してレンズケーブルをソケットに接続します。レンズケーブルのプラグが異なる場合は、付属の4ピンプラグを使用して接続します。

付属の4ピンプラグ

レンズ ピン番号	DC IRISレンズ (EEアンプ内蔵していない)	VIDEO IRISレンズ (EEアンプ内蔵)
1	制動 ⊖	9.0V [最大50mA]
2	制動 ⊕	NC
3	駆動 ⊕	VIDEO
4	駆動 ⊖	GND

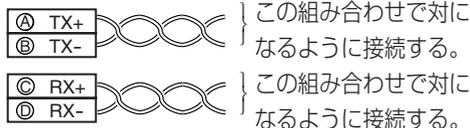


背面部の接続



■ 制御信号ケーブル

- RM-P2580を使用したシステムでは制御信号ケーブルを接続します。
- 使用ケーブルは導体直径0.65mm以上、特性インピーダンス110Ωの4芯（2対）より対ケーブルを推奨します。
- 図のようにTX+とTX-信号、RX+とRX-信号を対（ペア）になるようにケーブルを結線してください。
- RM-P2580との最大接続距離は1200mです。（特にRM-P2580では、1組のケーブルに複数のカメラ（最大16台）が接続できますが、その時のケーブル総延長は1200m以内となります。ケーブルは導体抵抗が110Ω以下でかつ特性インピーダンスが110Ωの場合です。）



■ 映像信号用同軸ケーブル

- 3C-2V、5C-2Vあるいは7C-2V同軸ケーブル(BNC)を使用してください。他のケーブルは使用できません。

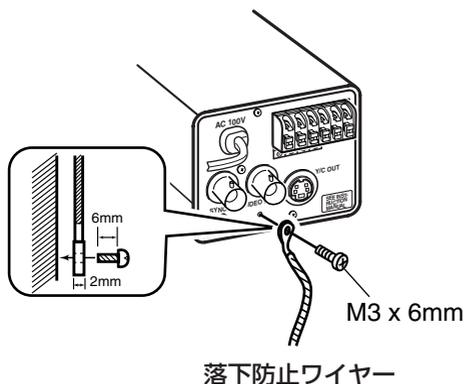
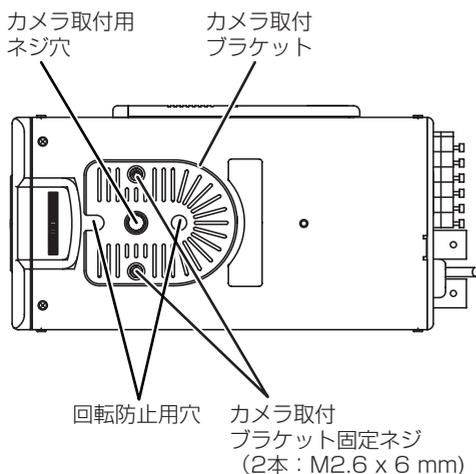
■ 同期結合接続

- 外部信号が複合映像信号、ブラックバースト信号の時同期結合するには、システムによって水平位相(H PHASE)調整やカラー位相(SC COARSE)調整が必要です。（P20ページ）

MEMO

- VTRやビデオディスクレコーダーなどのジッターの多い信号で同期結合することはできません。
- 詳細はお買い上げ販売店にご相談ください。

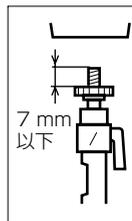
カメラの取付



本機をフィクサー、回転台などに取り付ける場合は、カメラ取付ブラケットにあるカメラ取付用ネジ穴を使用します。

ご注意

- カメラ取付用ネジ長さは、取付面より7mm以下のものをお使いください。指定長さより長いネジを使用すると、内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。
- 出荷時カメラ取付ブラケットはカメラ上面に取り付けられています。下面に付け換える場合は、カメラ取付ブラケット固定ネジ2本をはずして付け換えます。



ご注意

カメラ取付ブラケット固定ネジは、長さ6mmを使用してください。指定長さより長いネジを使用すると、内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。

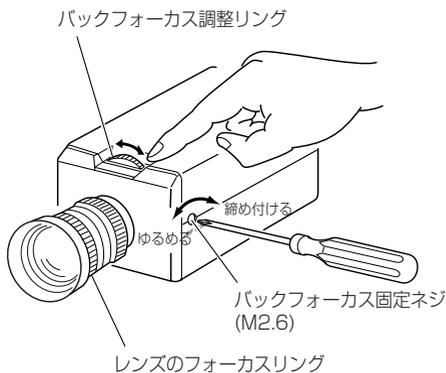
[落下防止] ⚠ 注意

- 壁または天井に取り付けるには、特別な注意が必要です。お客様による工事は避けて専門の工事業者にお任せください。本機が落下するとけがや事故の原因となります。
- フィクサー、回転台等に取り付ける場合は、落下防止のため回転防止用穴を利用し、確実に取り付けてください。
- 落下防止のため本機を強度の強いところ（天井スラブまたはチャンネル）と落下防止ワイヤーで接続してください。
- 使用する落下防止ワイヤーは、長さ・強度・引き回し・材質（絶縁性）等にも十分注意してください。
落下防止ワイヤーの取り付けは、本機背面のネジ用穴を利用してください。
- 落下防止ワイヤー固定用指定ネジ（M3 x 6mm）指定長さより長いネジを使用すると、内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。

バックフォーカス調整

工場出荷時、CSマウントで最も適用範囲の広い点に調整されていますが、ズームレンズ、Cマウントレンズを使用する時や、レンズのフォーカスリングでピントが合わない時は再調整が必要です。必要なときには下記方法により、バックフォーカスを調整してください。

- 正確なバックフォーカス調整をするために、電子シャッターやNDフィルターを使用しレンズアイリスを解放にした状態で下記調整をおこなってください。
(NDフィルターとは、レンズに入射する光量を全波長域均等に減少させる働きをするフィルターです。)



ご注意

白黒/カラーモード時被写体の照明が近赤外光減になったときレンズ性能によりピントがずれます。この場合、近赤外光に対応したレンズを使用してください。

〈固定焦点レンズの場合〉

レンズのフォーカスリングを調整してピントが取れないときは調整をしてください。

1. **バックフォーカス固定ネジ**をプラスドライバーで反時計方向に回してゆるめます。
2. 撮影する被写体あるいは被写体より離れた位置の細かい絵柄を撮影します。
3. レンズのフォーカスリングを ∞ にします。
4. **バックフォーカス調整リング**を回してピントを最良にします。
5. **バックフォーカス固定ネジ**を時計方向に回して締め付け、確実に固定します。

〈ズームレンズの場合〉

ズーミング操作（望遠～広角）をして、ピントがずれる時は調整をしてください。

1. **バックフォーカス固定ネジ**をドライバーで反時計方向に回してゆるめます。
2. 撮影する被写体あるいは被写体より離れた位置の細かい絵柄を撮影します。
3. ズームを望遠にし、レンズのフォーカスリングを回してピントを合わせます。
4. ズームを広角にして**バックフォーカス調整リング**を回してピントを合わせます。
※ 3.4 を2～3回繰り返します。
5. **バックフォーカス固定ネジ**を時計方向に回して締め付け、確実に固定します。

MEMO

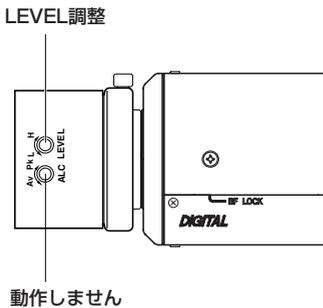
ピントの設定は、カラーと白黒画面では異なる場合があります。両方の画面でピントが最適になるように調整してください。

レンズ調整

「接続方法」に従って接続した後、カメラに電源を供給し、モニター上に出画させて映像を確認します。自動絞りレンズの場合、出荷時最も適応範囲の広い位置に調整されていますが、被写体の条件、組み合わせレンズの条件などにより、調整が必要な場合があります。映像が不自然な時、下記のように、調整してください。（レンズの取扱説明書もあわせてご覧ください。）

● EEアンプ内蔵自動絞りレンズの場合

本機側面のスイッチを“VIDEO”に切り換え、レンズ側のLEVELボリュームを調整します。



MEMO

ALC調整は、レンズで行えません。
ALC調整は、メニューのAVERAGE:
PEAK項目でおこなってください。
(☞21ページ)

● EEアンプ内蔵およびEEアンプ無し自動絞りレンズの場合

本機側面のスイッチを“DC”に切り換え、LEVEL調整はALC SETTINGS画面のIRIS LEVEL項目で調整します。
(☞21ページ)

MEMO

- LENS FOCUS ADJUSTMENT MODE
- 焦点調整の時に、レンズのアイリスを開いて焦点合わせを容易にするには本機側面にある④、ボタンを少なくとも一秒間押してください。この時[LENS FOCUS ADJUSTMENT MODE]がモニタースクリーンに表示されます。
調整完了後、LENS FOCUS ADJUSTMENT MODEを取り消すためには④、⑤、⑥のボタンのいずれか一つを押してください。
- 焦点設定は、カラーの画面と白黒の画面の場合で異なります。焦点が両方の画面で最適になるように調整を行ってください。

● LEVEL調整

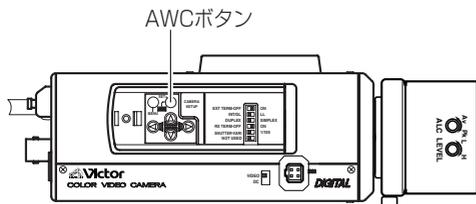
モニター画面	LEVELの操作方向
暗くする時	反時計方向 (L側)
明るくする時	時計方向 (H側)

MEMO

- LEVEL (感度調整) をL側に回し過ぎるとカメラのAGCにより感度が上がり、画質がザラついた感じとなります。
- 使用レンズによっては、LEVELボリュームをL側に回しすぎると、アイリスが開いたり閉じたりするハンチング (画面のバタツキ) がおこることがあります。この場合はLEVELボリュームを一度H側に回し、映像信号を見ながらLEVELボリュームを調整し直してください。

オートホワイトバランス調整

光源により光の色（色温度）が異なるため、被写体を照らす主要な光源が変わったときは、AWCボタンを押してホワイトバランスを再調整してください。



1. 画面の中心附近に被写体と同じ照明条件のところ白いものを置き、ズームアップして画面に白を映します。
2. AWCボタンを約1秒間押すと、AWC（オートホワイトバランス調整）を開始します。
3. オートホワイトバランス調整機能が動作中、画面に“AWC OPERATION”と表示します。正しくホワイトバランスがとれると、“AWC OK”と表示します。



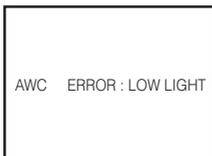
動作中



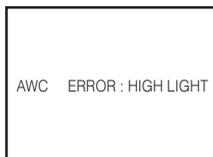
正常終了



被写体不良



光量不足



光量過剰

4. エラー表示
オートホワイトバランス調整が正常に終了しなかった場合、下記のようなメッセージを表示します。

- **NG : OBJECT（被写体不良）**

被写体の白が少ない時や色温度が適正でないときなどに表示されます。白い被写体が画面に十分になるようにして、再びホワイトバランスを取り直してください。

- **ERROR : LOW LIGHT（光量不足）**

照明が暗いときに表示されますので照明を明るくしてホワイトバランスを取り直してください。

- **ERROR : HIGH LIGHT（光量過剰）**

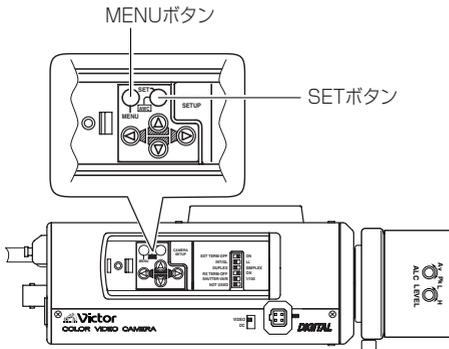
照明が明るすぎるときに表示されますので照明を暗くしてホワイトバランスを取り直してください。

MEMO

白黒モードで動作中はAWCボタンを押してもホワイトバランスは再調整されません。

メニュー設定

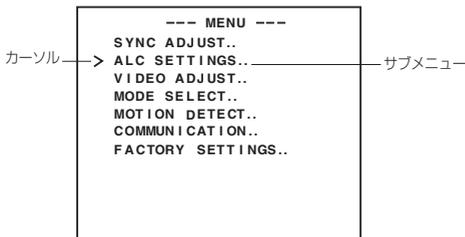
メニューの設定方法



1. MENUボタンを押す。

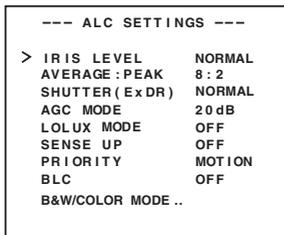
MENU画面を表示します。

2. Ⓐ, Ⓡ ボタンでカーソル (>) を希望のサブメニューに合わせる。

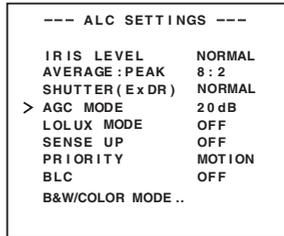


3. SETボタンを押す。

選択したサブメニュー画面を表示します。

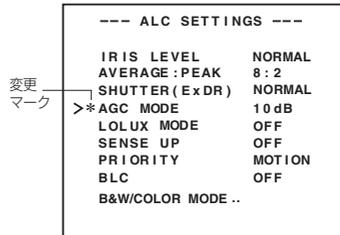


4. Ⓐ, Ⓡ ボタンでカーソル (>) を希望の項目に合わせる。



5. Ⓔ, Ⓢ ボタンで設定値を変える。

設定値を変えると変更マーク (*) が表示されます。



複数の項目の設定値を変える場合は、上記手順2.~5.を繰り返しおこなってください。

6. MENUボタンを押す。

前の画面 (MENU画面) に戻ります。

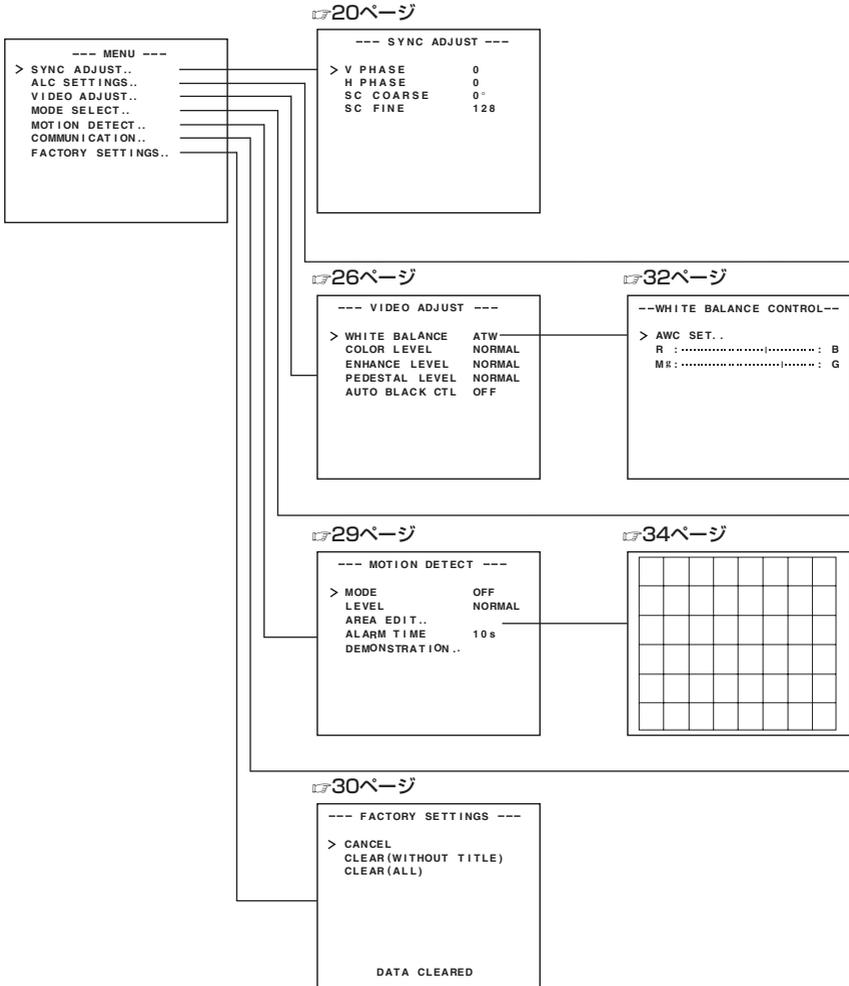
7. MENUボタンを押す。

通常画面 (メニュー表示のない画面) に戻ります。

※ RM-P2580を使って、メニューを設定する場合は、Ⓐ, Ⓡ, Ⓔ, Ⓢ ボタンのかわりにRM-P2580のPAN/TILT レバーを使用してください。

メニュー設定

メニュー画面の流れ



☞ 21ページ

```
--- ALC SETTINGS ---  
> IRIS LEVEL      NORMAL  
  AVERAGE:PEAK  8:2  
  SHUTTER (ExDR) NORMAL  
  AGC MODE       20dB  
  LOLUX MODE     OFF  
  SENSE UP       OFF  
  PRIORITY        MOTION  
  BLC            OFF  
  B&W/COLOR MODE..
```

☞ 27ページ

```
--- MODE SELECT ---  
> CAMERA TITLE EDIT..  
  REVERSE MODE    OFF  
  ALM.TITLE SIZE  DOUBLE  
  ALARM COLOR     WHITE  
  AUX TERMINAL    (B&W IN)  
  D. ZOOM MAX     X2
```

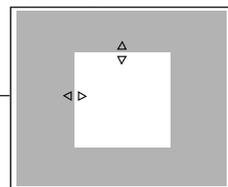
☞ 30ページ

```
--- COMMUNICATION ---  
> STYLE           P TO P  
  MACHINE ID      ---
```

☞ 21ページ

```
--- SHUTTER (ExDR) ---  
> SHUTTER SPEED  1/100  
  FAST LIMIT     1/100000  
  EXDR LEVEL     NORMAL  
  M.ExDR SPEED   1/4000
```

☞ 31ページ



☞ 25ページ

```
--- B&W/COLOR MODE ---  
> B&W           AUX  
  LEVEL         NORMAL
```

☞ 33ページ

```
--- CAMERA TITLE ---  
  0123456789-:/. ,  
  ABCDEFGHIJKL MNOP  
  QRSTUVWXYZ  
  アイエオカキクケコサシセソ  
  タチツトニエネノハフヘホ  
  マミムメモヨラリルロワラ  
  ンアイエオツサユヨ
```

メニュー設定

SYNC ADJUST画面

同期に関する設定をおこないます。

項目	機能と設定値	初期値
V PHASE	側面部、同期方式切換スイッチがLL時の垂直同期を他のカメラと合わせます。 LLに設定されていないときは、"---"と表示され可変できません。 (電源周波数 60Hz 地域のみ動作可能です。) [設定値： - 131 ~ 0 ~ 131]	0
H PHASE	側面部、同期方式切換スイッチがINT / GL時の水平同期を他のカメラやシステムと合わせます。 外部信号が入力されていないときは、"---"と表示され可変できません。 [設定値： - 16 ~ 0 ~ 16]	0
SC COARSE	同期結合時のSC位相の粗調整をおこないます。 操作するごとに位相が90°変化します。 他のカメラ(またはシステム)を基準とし、SC FINE(微調整)と組み合わせて位相を合わせてください。 SC COARSE及びSC FINEは H PHASEの調整をおこなってから調整してください。 GLに設定されていないときは、"---"と表示され可変できません。 [設定値： 0° , 90° , 180° , 270°]	0°
SC FINE	同期結合時のSC位相の微調整をおこないます。 GLに設定されていないときは、"---"と表示され可変できません。 [設定値： 0 ~ 255]	128

ALC SETTINGS画面

明るさにより自動的に調整をおこないます。

項目	機能と設定値	初期値
IRIS LEVEL	<p>レンズの絞りを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 暗い画面にするとときレベルを上げる…数を大きくする。 • 明るい画面にするとときレベルを下げる…数を小さくする。 <p>[設定値：-5～NORMAL～5]</p>	NORMAL
AVERAGE : PEAK	<p>露出検出のしかたを平均値とピーク値の割合で設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AVERAGE値大：画面のハイライト部分以外のところが暗く、つぶれ気味のときはAVERAGE値を大きくします。 (例10:0) • PEAK値大：画面のハイライト部分がハレーション気味のときは、PEAK値を大きくします。(例5:5) <p>[設定値：10:0, 9:1, 8:2, 7:3, 6:4, 5:5]</p>	8:2
SHUTTER (ExDR)	<p>電子シャッターおよびExDR (Extended Dynamic Range) に関する設定をおこないます。</p> <p>電子シャッター機能を使うと、明るくなる程シャッタースピードは高速になり、適正な明るさで撮影することができます。</p> <p>ExDR機能はシャッタースピード1/120 秒で撮影した映像と高速シャッターで撮影した映像を合成することにより、照度差のある被写体でも撮影することができます。</p> <p>NORMAL：シャッタースピードを1/60(1/100)に固定します。ExDRは機能しません。()は、シャッタースピード切換スイッチが1/100の場合</p> <p>MANUAL：SHUTTER (EXDR) 画面のSHUTTER SPEED項目でシャッタースピードを設定します。 ExDRは機能しません。 SENSE UPがOFF以外または、シャッタースピード切換スイッチが1/100の場合、MANUALはメニュー表示されず選択できません。</p> <p>AUTO：明るさに応じて、自動的にシャッタースピードを切り換えます。 ExDRは機能しません。 シャッタースピードの最速値はSHUTTER (ExDR)画面のFAST LIMIT項目で設定します。 シャッタースピード切換えスイッチが1/100の場合、AUTOはメニュー表示されず選択できません。</p>	NORMAL

メニュー設定

ALC SETTINGS画面 (つづき)

項目	機能と設定値	初期値
SHUTTER (ExDR) (つづき)	<p>M. ExDR： 照明条件が一定で、画面の中に照度差のある被写体を撮影する場合などに使用します。 ExDRモード時、合成する高速シャッタースピードをSHUTTER (ExDR) 画面のM.ExDR SPEED項目で設定します。BLC項目とSENSE UP項目がOFFの場合のみ設定できます。</p> <p>また、合成する高速シャッターの信号レベルをExDR LEVELで設定します。</p> <p>A. ExDR： 屋内・屋外の被写体が混在する様な照度差のある被写体を昼夜連続して使用する場合などに使用します。 ExDRモード時、合成するシャッタースピードが被写体のコントラストに応じ、自動的に可変します。 明るさの変わる被写体を撮影するときに設定します。BLC項目がOFFの場合のみ、設定できます。</p> <p>また、合成する高速シャッターの信号レベルをExDR LEVELで設定します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> マニユアルレンズ使用時は、A.ExDRに設定しないでください。 M.ExDR, A.ExDRモードで使用すると、明るい部分と暗い部分との境界に着色（シアン、オレンジ等）することがありますが、これは故障ではありません。 SHUTTER (ExDR)項目をM. ExDR,A.ExDR設定時、蛍光灯や水銀灯などの照明下では、フリッカー（チラツキ）が発生しますがこれはExDRの原理上発生するもので故障ではありません。商用電源周波数50Hz地域でシャッタースピードを1/100に、60Hz地域では1/60に設定してもチラツキが軽減されない場合があります。 	
<p>※ SHUTTER (ExDR) 項目がNORMALに設定されている場合は、下記項目 (SHUTTER SPEED, FAST LIMIT, ExDR LEVEL およびM.ExDR SPEED) を変更することはできません。</p>		
SHUTTER SPEED	<p>MANUAL設定時のシャッタースピードを設定します。 SHUTTER (ExDR)項目がAUTO, M.ExDR, A.ExDRに設定されている場合は“- - -”と表示され可変できません。</p> <p>[設定値： 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000]</p>	1/100

項目	機能と設定値	初期値
FAST LIMIT	AUTO設定時のシャッタースピードを設定します。 SHUTTER (ExDR)項目がMANUAL、M.ExDR、 A.ExDRに設定されている場合は“- - -”と表示され 可変できません。 [設定値：1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000, 1/20000, 1/40000, 1/100000] MEMO シャッタースピードが高速になるほど、CCD特有のス ミア現象が強調されます。	1/100000
ExDR LEVEL	ExDRモード時、合成する高速シャッターの信号レベル を設定します。被写体の輝度により設定します。 M. ExDR使用時は、先にM.ExDR SPEEDを設定してく ださい。 SHUTTER (ExDR) 項目がMANUAL、または AUTOに設定されている場合、“- - -”と表示され 設定はできません。 • 被写体の低輝度部を優先…数字を大きく • 被写体の高輝度部を優先…数字を小さく [設定値：-5~NORMAL~5] MEMO 被写体の照度差が大きい場合、ExDR LEVELを可変さ せても映像が変化しないことがあります。これは本 機の特性で故障ではありません。	NORMAL
M. ExDR SPEED	ExDRがM.ExDR設定時、合成する高速シャッタース ピードを設定します。高照度の被写体（屋外など）が、 一番ははっきり映るように、シャッタースピードを設定しま す。 SHUTTER (ExDR) 項目がMANUAL、AUTOまた はA.ExDRに設定されている場合、“- - -”と表示 され設定はできません。 [設定値：1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000, 1/20000]	1/4000
AGC MODE	AGC（自動ゲイン調整）の最大ゲインを設定します。 OFF： AGC機能を使用しないとき 10dB： 光量が不足しているとき 20dB： 特に光量が不足しているとき SUPER： 20dBに設定しても明るさが不足のとき MEMO • B&W項目がAUTOに設定されている場合は、AGC MODE項目がSUPERのときは [SUPER] を、その 他の設定時は [20dB] を表示して、表示した値ま でゲインを上げます。 • ゲインを上げると暗い場所では、画面がザラつきます。	20dB
LOLUX MODE	これは、AGC MODEに設定時でも、輝度が低い場合 に用いられます。（AGC MODE設定の如何にかかわ らず機能します。） OFF： LOLUX MODEがオフ ON： LOLUX MODEがオン (+6dB)	OFF

メニュー設定

ALC SETTINGS画面 (つづき)

項目	機能と設定値	初期値
SENSE UP	<p>被写体が暗くなったとき、感度が自動的に何倍まで上がるかを設定します。 ×32 AUTOの場合、標準に比べ32倍まで自動的に連続で感度が上がります。感度が上がると、シャッタースピードが遅くなるため動きが不自然なものとなります。 SHUTTER (ExDR) 項目をMANUALまたはM.ExDRに設定すると、“- - -”と表示されSENSE UPは機能しません。 [設定値：OFF, ×2 AUTO, ×4 AUTO, ×8 AUTO, ×16 AUTO, ×24 AUTO, ×32 AUTO]</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> SENSE UPの倍率を上げると、画面がザラついたり、白っぽくんだり、白キズが現われる場合がありますが異常ではありません。 SENSE UP項目をOFF以外に設定時、蛍光灯や水銀灯などの照明下では、フリッカー (チラツキ) が発生しますが、これはSENSE UPの原理上発生するもので故障ではありません。商用電源周波数50Hz地域でシャッタースピードを1/100に、60Hz地域では1/60に設定してもチラツキが軽減されない場合があります。 	OFF
PRIORITY	<p>被写体が暗くなったとき、動きを優先するか画質を優先するかを設定します。 MOTION：動きを優先します。 被写体が暗くなると、AGC (自動ゲイン調整) が優先的に機能するため動きの早い被写体に適しています。 PICTURE：画質を優先します。 被写体が暗くなると、SENSE UP (感度アップ) が優先的に機能するため画質を優先する被写体に適しています。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> B&W項目がAUTOに設定されている場合やAGC MODE項目とSENSE UP項目のどちらかがOFFに設定されている場合は、“- - -”と表示され設定はできません。 	MOTION
BLC	<p>逆光補正機能を選択します。強い光源などが被写体と同じ方向にあるとき設定します。 SHUTTER (ExDR) 項目をM.ExDRまたはA.ExDRに設定すると“- - -”と表示されBLCは機能しません。 OFF：逆光補正機能は動きません。 AREA 1～4：SETボタンを押すと、固定の測光エリアを表示します。4種類の中から選択します。</p> <div style="text-align: center;"> <p>測光エリア 測光エリア 測光エリア 測光エリア 測光エリア</p> <p>OFF AREA 1 AREA 2 AREA 3 AREA 4</p> </div> <p>※画面表示位置は目安です。 EDIT 1, 2：SETボタンを押すと、ユーザ設定測光エリアを表示します。2種類の中から選択します。(P.31ページ[BLC EDIT画面])</p>	OFF

項目	機能と設定値	初期値
B&W/ COLOR MODE	<p>白黒／カラーの切り換えに関する設定をおこないません。 カラーと白黒の切り換えをおこなうと、ピントがズれることがあります。このような場合はピントをとりなおしてください。</p>	
B&W	<p>カラーから白黒モードに切り換える機能について設定しません。</p> <p>OFF : 白黒モードには切り換わりません。 ON : いつも白黒モードとなります。 AUTO : 被写体の輝度が高い場合は、カラーモード、低い場合は、白黒モードに自動的に切り換わります。 (☞35ページ)</p> <p>AUX : AUX端子に制御信号を入力することで白黒／カラーを切り換えます。(☞36ページ)</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> • B&W項目をAUTOに設定すると被写体の明るさに応じて白黒／カラーの切り換えをおこなうことができますが照明の条件や画角によって切り換わらないことがあります。また、赤外線照明をご使用の場合、被写体が強く反射すると白黒からカラー画面に切り換わることがあります。より確実に切り換えをおこなうためには、AUXに設定しAUX端子に制御信号を入力することで白黒／カラーの切り換えをおこなうことをおすすめします。 • B&W項目をAUXに設定すると、AUX TERMINAL項目が自動的に (B&W IN) に設定されます。AUX以外に変更するとAUX TERMINAL項目は、変更前の設定値にもどります。(☞28ページ) 	AUX
LEVEL	<p>B&W項目がAUTOに設定されている場合、白黒モードに切り換わる被写体の信号レベルを設定します。</p> <p>LOW : 被写体の信号レベルが低輝度で白黒モードに切り換わります。 NORMAL : 被写体の信号レベルが標準で白黒モードに切り換わります。 HIGH : 被写体の信号レベルが高輝度で白黒モードに切り換わります。</p> <p>MEMO</p> <p>B&W項目がAUTO以外に設定されている場合は"---"と表示されLEVEL項目の設定変更はおこなえません。</p>	NORMAL

メニュー設定

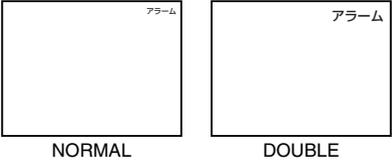
VIDEO ADJUST画面

映像信号に関する調整をおこないます。

項目	機能と設定値	初期値
WHITE BALANCE	<p>ホワイトバランス調整機能を選択します。 色温度2500K～8000Kの範囲内の照明に対して、ホワイトバランス調整ができます。</p> <p>ATW：Auto-Tracking White Balance（自動色温度追尾）モードになります。 照明の色温度に応じて本体は自動的にホワイトバランスを調整します。</p> <p>AWC：AWC（オートホワイトバランス調整）モードになります。 SETボタンを押すと、ホワイトバランス調整画面を表示します。 (P.32ページ「ホワイトバランス手動調整」)</p> <p>MEMO</p> <p>白黒モードで動作中は“- - -”と表示され設定変更はおこなえません。</p>	ATW
COLOR LEVEL	<p>映像信号の色レベルの調整をおこないます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 色を薄くする…数を小さくする。 • 色を濃くする…数を大きくする。 <p>[設定値：-5～NORMAL～5]</p> <p>MEMO</p> <p>白黒モードで動作中は“- - -”と表示され設定変更はおこなえません。</p>	NORMAL
ENHANCE LEVEL	<p>映像信号のアパコン・コントラレベルの調整をおこないます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 画像をソフトにする…数を小さくする。 • 画像をシャープにする…数を大きくする。 <p>[設定値：-5～NORMAL～5]</p>	NORMAL
PEDESTAL LEVEL	<p>映像信号のペDESTALレベルの調整をおこないます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 画像を暗くする…数を小さくする。 • 画像を明るくする…数を大きくする。 <p>[設定値：-5～NORMAL～5]</p>	NORMAL
AUTO BLACK CTL	<p>AGC（自動ゲイン調整）でゲインを上げても映像の暗い部分が見にくいときに設定します。</p> <p>ON：映像信号のレベルが低いと、黒の基準となるペDESTALレベルが自動的に上がり、暗い部分を見えやすくします。</p> <p>OFF：AUTO BLACK CTLは機能しません。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> • PEDESTAL LEVEL項目を5に設定時、AUTO BLACK CTLをONにしても機能しません。 • AGC MODE項目をOFFに設定時、AUTO BLACK CTLをONにしても機能しません。 	OFF

MODE SELECT画面

タイトルや映像反転などの設定をおこないます。

項目	機能と設定値	初期値
CAMERA TITLE EDIT	カメラタイトル編集画面をひらきます。 ( 33ページ)	—
REVERSE MODE	画像の反転についての設定をおこないます。 OFF： 画像は反転しません。 R-L： 画像の左右を反転します。 U-D： 画像の上下を反転します。 ALL： 画像の上下左右を反転します。	OFF
ALM. TITLE SIZE	ALARM（アラーム）時に表示する文字のサイズを 選択します。 	DOUBLE
ALARM COLOR	ALARM（アラーム）時に表示する文字の色をを設 定します。 [設定値： WHITE, YELLOW, CYAN, GREEN] MEMO _____ ALARM（アラーム）時には、カメラタイトルの 表示色もALARM COLOR設定の色になります。	WHITE

メニュー設定

MODE SELECT画面 (つづき)

項目	機能と設定値	初期値
AUX TERMINAL	<p>AUX端子に入出力する信号の設定をおこないます。</p> <p>MOTION : MOTION DETECT画面で設定したエリアに変化が生じた場合、信号を出力します。</p> <p>B&W OUT : 本機が白黒／カラーに切り換わった場合、信号を出力します。</p> <p>B&W IN : AUX端子に制御信号を入力することで白黒／カラーを切り換えるときに設定します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none">• B&W OUTの設定で赤外線照明器を連動させてご使用になるとハンティングを起こすことがあります。これを防ぐためには、B&W INに設定し制御信号にて本機および赤外線照明器等を連動させることをおすすめします。• B&W項目がAUXに設定されているとAUX TERMINAL項目は、(B&W IN) となり変更できません。 (P25ページ)	(B&W IN)
D. ZOOM MAX	<p>電子ズーム機能の最大値を設定します。 [設定値 : ×1, ×2, ×4, ×6, ×8, ×10]</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none">• 電子ズーム機能は外部コントローラー (RM-P2580等) の通信コマンドでのみ操作可能です。本機でのマニュアル操作はおこなえません。• 電子ズームは映像をデジタル処理するため、多少映像品質が劣化します。• 電子ズームの倍率を上げていくと、画面中央が左上方向にずれますが、これは本機の特性であり故障ではありません。	×2

MOTION DETECT画面

映像に動きがあると、アラーム信号を出力するモーションディテクト機能に関する設定をおこないます。アラーム信号は背面部AUX端子から出力します。

項目	機能と設定値	初期値
MODE	モーションディテクト機能のON/OFFを設定します。 OFF：モーションディテクト機能は動作しません。 ON：モーションディテクト機能が動作します。	OFF
LEVEL	動きを検出するレベルを設定します。 MODE項目をOFFに設定すると、“- - -”と表示され設定変更はおこなえません。 <ul style="list-style-type: none"> 大きな信号レベル変化で機能する…数字を小さく 小さな信号レベル変化で機能する…数字を大きく [設定値：-5～NORMAL～5] MEMO 設定後は必ずデモンストレーション項目でモーションディテクト機能が正しく動作することを確認してください。	NORMAL
AREA EDIT	モーションディテクトが機能する範囲を設定します。 (<small>☞</small> 34ページ)	—
ALARM TIME	動きを検出した時に出力するアラーム信号の出力時間および画面へのアラーム表示時間を設定します。 MODE項目をOFFに設定すると、“- - -”と表示され設定変更はおこなえません。 [設定値：OFF, 5s, 6s, 7s, 8s, 9s, 10s, 15s, 20s, 30s, 1min] MEMO ALARM TIME項目をOFFに設定しても、AUX端子からのアラーム信号は約500ms出力します。画面にアラームは表示しません。	10s
DEMONSTRATION	設定したモーションディテクト機能を確認する時に使います。	—

モーションディテクトは盗難、火災などを防止するための機能ではありません。また、被写体条件や設定条件によっては正しく動作しない場合があります。万一、発生した事故や損害に対する責任は、一切負いません。

メニュー設定

COMMUNICATION画面

背面部制御信号接続端子についての設定をおこないます。

設定を変えた場合は、メニュー画面を一度ぬけてから必ず電源を再投入してください。

項目	機能と設定値	初期値
STYLE	通信方式を設定します。使用システムに合わせます。 P TO P (Point to Point) ：カメラ1台をリモコン1台で制御するとき、この設定にします。 M. DROP (Multi-drop) ：カメラ複数台をリモコン1台で制御するとき、この設定にします。	P TO P
MACHINE ID	STYLE項目をM.DROPに設定した場合、設定します。 複数台のカメラをそれぞれ識別するための番号です。 ID番号がシステム内で重複すると正しく動作しません。 RM-P2580と組み合わせた場合は、RM-P2580のVIDEO INPUT番号に合わせて設定してください。 STYLE項目をP TO Pに設定すると、“ - - - ”と表示され設定変更はおこなえません。 [設定値：1～99]	---

FACTORY SETTINGS画面

設定した値を初期値にもどします。

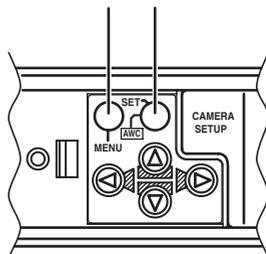
項目	機能と設定値	初期値
FACTORY SETTINGS	メニューで設定した値を初期値にもどします。 CANCEL：初期値にもどしません。 CLEAR：タイトル以外の設定値を初期値(WITHOUT TITLE)にもどします。 CLEAR (ALL)：タイトルを含め全ての設定値を初期値にもどします。 それぞれの設定値を選択し、SETボタンを押すと、画面に約3秒間“DATA CLEARED”と表示します。 表示中は電源を切らないでください。 MEMO 通信コマンドによってFACTORY SETTINGSをおこなった場合、COMMUNICATION画面の内容は初期値にもどりません。	—

BLC EDIT画面

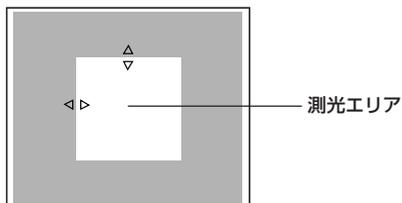
逆光補正の測光エリアを任意に設定することができます。EDIT 1とEDIT 2の2種類の画面で設定できます。

--- ALC SETTINGS ---	
IRIS LEVEL	NORMAL
AVERAGE : PEAK	3 : 2
SHUTTER (ExDR)	NORMAL
AGC MODE	20dB
LOLUX MODE	OFF
SENSE UP	OFF
PRIORITY	MOTION
> BLC	EDIT 1
B&W/COLOR MODE ..	

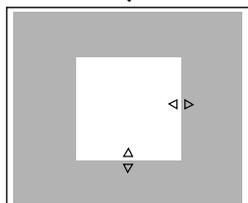
MENUボタン SETボタン



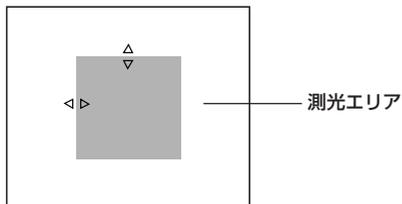
EDIT 1画面



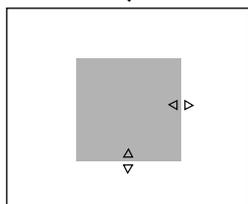
SETボタン



EDIT 2画面



SETボタン



1. ALC SETTINGS画面のBLC項目をEDIT 1に設定する。

2. SETボタンを押す。

EDIT 1画面が表示されます。

3. ▲, ▼, ◀, ▶ ボタンで測光エリアの上辺と左辺を設定する。

画面内の ▲, ▼, ◀, ▶ 表示のある辺が可変できます。

4. SETボタンを押す。

測光エリアの可変できる辺が右辺と下辺に移動します。

5. ▲, ▼, ◀, ▶ ボタンで測光エリアの下辺と右辺を設定する。

もう一度SETボタンを押すと、測光エリアの可変できる辺が上辺と左辺にもどります。

(EDIT 2画面も同様に設定できます。)

6. 設定が終わったら、MENUボタンを押す。

ALC SETTING画面にもどります。

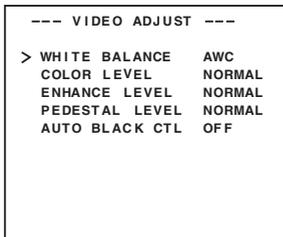
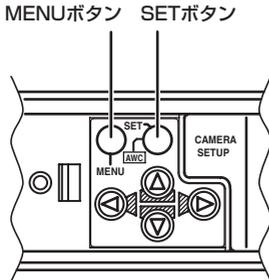
※ 設定した測光エリアを使用する場合は、BLC項目をEDIT 1またはEDIT 2に設定します。

※画面表示位置は目安です。

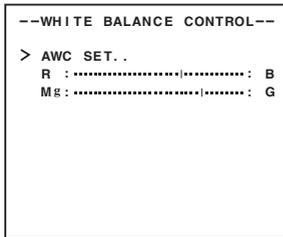
メニュー設定

ホワイトバランス手動調整

ホワイトバランスの自動調整の結果、「画面が赤っぽくなる」などのときにホワイトバランスを手動調整してください。



VIDEO ADJUST 画面



WHITE BALANCE CONTROL 画面

1. VIDEO ADJUST画面のWHITE BALANCE項目をAWCに設定し、SETボタンを押す。

- モニターにWHITE BALANCE CONTROL画面が表示されます。

2. **Ⓐ** または **Ⓡ** ボタンを押して、調整する色相を選択する。(R/BまたはMg/G)

3. **Ⓒ** または **Ⓓ** ボタンを押して、色相を調整する。

- 設定に応じて、“i”表示が移動します。

4. ホワイトバランス手動調整が終わったら、MENUボタンを押す。

- VIDEO ADJUST画面にもどります。

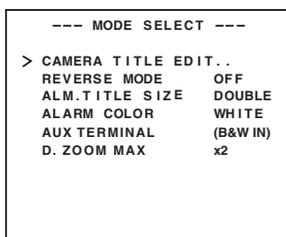
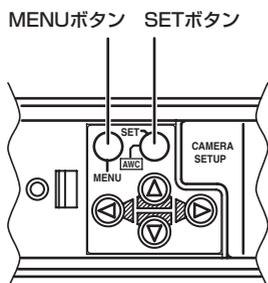
MEMO

WHITE BALANCE CONTROL画面で色相を調整中にカラーから白黒モードに切り換わると、VIDEO ADJUST画面にもどります。

この時調整した値は保存されません。

カメラタイトル画面

カメラ毎にカメラタイトルを最大24文字まで選択できます。



MODE SELECT画面

1. MODE SELECT画面でCAMERA TITLE EDIT項目を選択し、SETボタンを押す。

- CAMERA TITLE画面が表示されます。

2. ◀, ▼, ◎, ▶ ボタンで1文字目をキャラクター部から選択する。

- 選択した文字は点滅表示します。

3. SETボタンを押す。

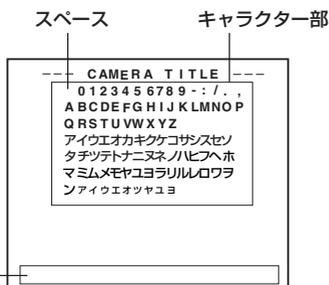
- 1文字目が確定し、タイトル入力部の点滅が2文字目に移動します。

4. 上記手順2～3を繰り返す。

- タイトルは24文字まで入力できます。

5. カメラタイトルの入力が終わったら、MENUボタンを押す。

- MODE SELECT画面にもどります。



CAMERA TITLE画面

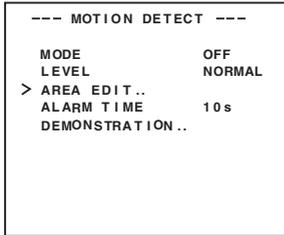
タイトル入力部

メニュー設定

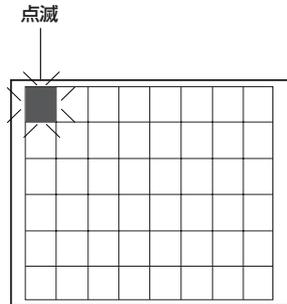
MOTION DETECTの設定

映像に動きがあると、アラーム信号を出力するモーションディテクト機能に関する設定をおこないます。アラーム信号は背面部AUX端子から出力します。

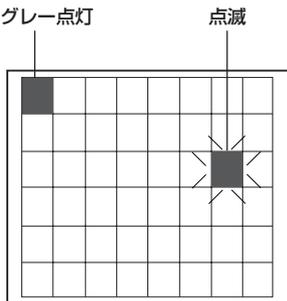
MOTION DETECTが機能するエリアを任意に設定することができます。



MOTION DETECT画面



設定画面



1. MOTION DETECT画面のAREA EDIT項目を選択する。

2. SETボタンを押す。

- 設定画面が表示されます。

3. (F4), (F7), (F8), (F9) ボタンで検出しないエリアを選択する。

- 白黒に点滅している部分が移動します。

4. SETボタンを押す。

- 検出しないエリアが設定され、グレー（点灯）となります。
設定したエリアを解除するには、もう一度SETボタンを押します。

5. 上記手順3. と4. を繰り返す。

6. 設定が終わったら、MENUボタンを押す。

- MOTION DETECT画面にもどります。

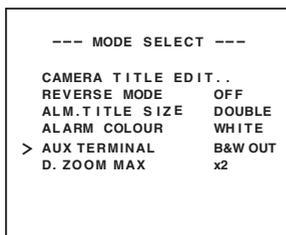
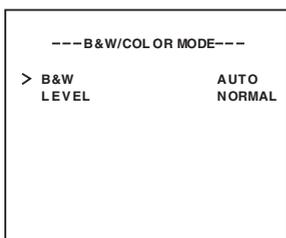
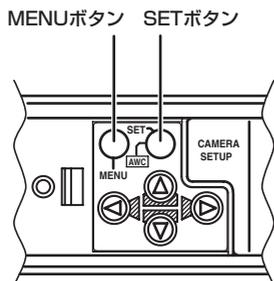
MEMO

- 画面表示位置は目安です。実際の画面で確認してください。
設定エリアの確認はDEMONSTRATION画面でおこなえます。
- MOTION DETECT 機能は、メニューをぬけてから約5秒間は機能しません。
- 1画面は48ブロックに分割されています。被写体の大きさが複数ブロック以上となるようにレンズの倍率を調節してください。

モーションディテクトは盗難、火災などを防止するための機能ではありません。また、被写体条件や設定条件によっては正しく動作しない場合があります。万一、発生した事故や損害に対する責任は、一切負いません。

白黒／カラー切り換え信号を出力する

本機背面のAUX端子から白黒／カラー切り換え信号を出力することができます。
設定は下記のとおりです。



ご注意

白黒／カラーモード時被写体の照明が近赤外光減になったときレンズ性能によりピントがずれます。この場合、近赤外光に対応したレンズを使用してください。

■ B&W項目をAUTOに設定する。

1. ALC SETTINGS画面のB&W/COLOR MODE項目を選択する。
2. SETボタンを押す。
 - B&W/COLOR MODE画面が表示されます。
3. **Ⓐ** または **Ⓥ** ボタンを押して、B&W項目を選択する。
4. **ⓐ** または **ⓑ** ボタンを押して、“AUTO” に設定する。
5. 設定が終わったら、MENUボタンを2回押す。
 - メインメニュー画面にもどります。

■ AUX TERMINAL項目をB&W OUTに設定する。

1. メインメニュー画面のMODE SELECTを選択する。
2. SETボタンを押す。
 - MODE SELECT画面が表示されます。
3. **Ⓐ** または **Ⓥ** ボタンを押して、AUX TERMINAL項目を選択する。
4. **ⓐ** または **ⓑ** ボタンを押して、“B&W OUT” に設定する。
5. 設定が終わったら、MENUボタンを2回押す。
 - 通常画面にもどります。

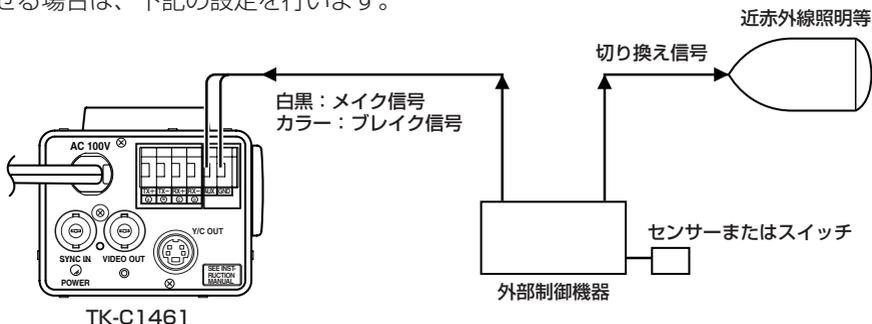
MEMO

- 近赤外線照明をご使用の場合、被写体が強く反射すると白黒からカラー画面に切り換わることがあります。
より確実に切り換えをおこなうには、36ページ「外部からの白黒／カラー切り換え信号で制御する」の設定でのご使用をおすすめします。

メニュー設定

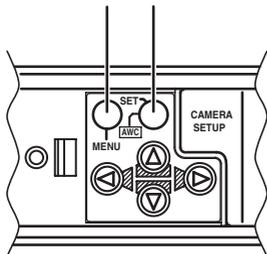
外部からの白黒／カラー切り換え信号で制御する

外部制御機器からの切り換え信号で本機の白黒／カラー切り換え及び近赤外線照明等を連動させる場合は、下記の設定を行います。



接続機器等については販売店にお問い合わせください。

MENUボタン SETボタン



--- ALC SETTINGS ---	
IRIS LEVEL	NORMAL
AVERAGE : PEAK	8 : 2
SHUTTER (ExDR)	NORMAL
AGC MODE	2.0 dB
LOLUX MODE	OFF
SENSE UP	OFF
PRIORITY	MOTION
BLC	OFF
> B&W/COLOR MODE ..	

--- B&W/COLOR MODE ---	
> B&W LEVEL	
AUX	NORMAL

■ B&W項目をAUXに設定する。

1. ALC SETTINGS画面のB&W/COLOR MODEを選択する。
2. SETボタンを押す。
 - B&W/COLOR MODE画面が表示されます。
3. **Ⓐ** または **Ⓥ** ボタンを押して、B&W項目を選択する。
4. **ⓐ** または **ⓑ** ボタンを押して、“AUX”に設定する。
 - MODE SELECT画面のAUX TERMINAL項目が自動的に（B&W IN）設定されます。（[P.28](#)ページ）
5. 設定が終わったら、MENUボタンを押す。
 - ALC SETTING画面にもどります。

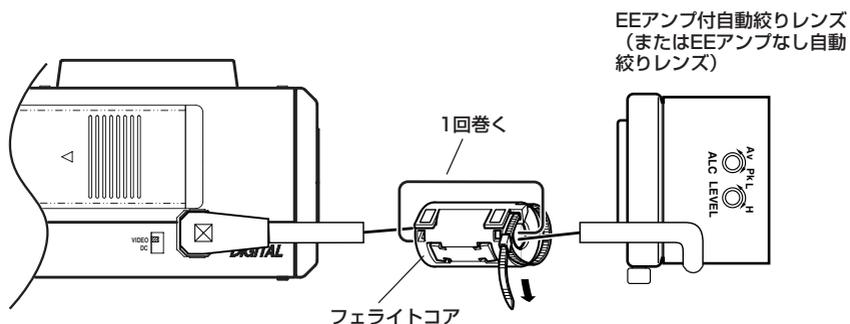
ご注意

白黒／カラーモード時被写体の照明が近赤外光減になったときレンズ性能によりピントがずれます。この場合、近赤外光に対応したレンズを使用してください。

その他

フェライトコアの取り付け

本機に接続するレンズケーブルには不要電波の放射を軽減するため、添付のフェライトコアを必ず取り付けてください。



ご注意

フェライトコアは、できるだけカメラの近く(5cm以内)に取り付けてください。(添付の結束バンドでフェライトコアを固定してください。)

フェライトコアにケーブルを1回通してから、カメラに接続してください。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡しします。保証書は所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

● 保証期間について

保証期間はお買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。

故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

● 消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

部品名	備考
撮像素子 (CCD)	一年保証のみ。

● 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理についてはお買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる製品については、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

● アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ販売店又は別紙ビクターサービス窓口案内をご覧ください。最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調整で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買い上げ販売店又はビクターサービス窓口にご相談ください。

- 機種名：TK-C1461
- 故障の状態をできるだけ詳しく：
- ご購入年月日
- ご住所、ご氏名、電話番号

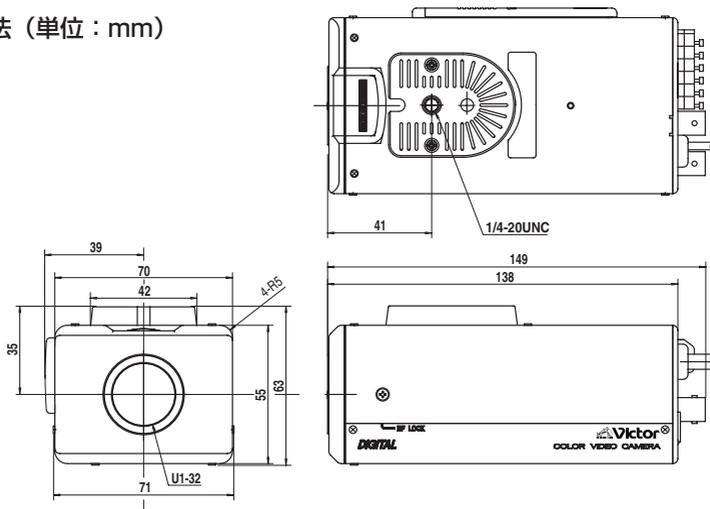
商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適正に処理してください。

仕様

撮像素子	: 1/3型インターライン転送方式 : 768(H) × 494(V)
カラー化方式	: 単板色差線順次方式
同期方式	: 内部同期 / 外部同期 / ラインロック
走査周波数	: 水平: 15.734 kHz, 垂直: 59.94 Hz
映像出力	: コンポジットビデオ信号 1 V (p-p), 75 Ω (BNC)
水平解像度	: 480 TV本 (標準)
映像S/N比	: 50 dB (標準) …AGC OFF時
最底被写体照度	: 0.8 lx (typ.) (50%, F1.2, AGC 20 dB) 0.4 lx (typ.) (25%, F1.2, AGC 20 dB) 0.025 lx (typ.) (50%, F1.2, AGC 20 dB, SENSE UP × 32) 0.02 lx (typ.) (F1.2, AGC 20dB 850nm B&W MODE)
ホワイトバランス	: ATW (自動追尾), AWC (オートホワイトバランスコントロール)
電子シャッター	: 1/60秒 (標準) 1/100秒 (50 Hzフリッカーレス)
通信ポート	: RS-422AまたはRS-485, 9600 bit/s
レンズマウント	: C/CSマウント
電源	: AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	: 5.9 W
周囲温度	: -10 °C ~ 50 °C (動作), 0 °C ~ 40 °C (推奨)
質量	: 720 g
添付物・付属品	: 保証書 × 1 ビクターサービス窓口案内 × 1 取扱説明書 × 1 4ピンプラグ × 1 フェライトコア × 1

外形寸法 (単位: mm)



本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

お客様ご相談センター

東 京

電話 (03)5684-9311 [代表]

FAX (03)5684-9317

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大 阪

電話 (06)6765-4161 [代表]

FAX (06)6765-4891

〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

日本ビクター株式会社

システムネットワーク事業本部

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2

電話 (0426) 60-7203

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-1-1 (田辺ビル) 電話 (03) 3663-9054